

第37回歯科衛生士教育講演B（日本歯科衛生士会 第3次生涯研修）報告

- 主催：日本歯周病学会（歯科衛生士関連委員会）
協力：山形県歯科衛生士会
日時：平成24年1月29日（日）10：00～15：00
場所：山形市総合福祉センター 2階交流ホール
講演：①全身疾患と歯周病
②日本歯周病学会認定歯科衛生士症例発表・認定歯科衛生士とは
③歯周病患者の補綴の知識（咬合、審美、インプラント治療を含む）
講師：野村正子 歯科衛生士関連委員会副委員長
南部佳恵 日本歯周病学会認定歯科衛生士
澁谷俊昭 歯科衛生士関連委員会委員長

研修単位：①②の両方に該当する場合は、①②それぞれの単位取得が可能

- ① 日本歯周病学会会員の場合
- ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（8単位）
 - ・更新時の生涯研修単位（10単位）
- ② 日本歯科衛生士会会員の場合
- ・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基本技術4単位）
- I-A 初診時に必要な知識と技術
全身疾患と歯周病（2単位）
- III-E 歯周治療の補助に必要な知識と技術
歯周病患者の補綴の知識（咬合、審美、インプラント治療を含む）（2単位）

日程：

- 9：00 受付開始
- 10：00 開会の挨拶 鍵水麻里 山形県歯科衛生士会副会長
会長挨拶 末廣かなえ 山形県歯科衛生士会会長
- 10：10 「全身疾患と歯周病」野村正子 副委員長
症例発表・認定歯科衛生士取得について 南部佳恵 認定歯科衛生士（飯淵歯科
医院・宮城県柴田郡）
- 12：10 休憩
- 13：00 「歯周病患者の補綴の知識」（咬合、審美、インプラント治療を含む）
認定歯科衛生士制度の概要 澁谷俊昭 委員長
質疑応答
- 15：00 閉会の挨拶 小野淑子 山形県歯科衛生士会副会長

《概要》

受講者は 85 名で、うち日本歯周病学会認定歯科衛生士は 12 名（日本歯周病学会員は 16 名）であった。他県からの受講者は、福島県 3 名、新潟県 2 名、宮城県 2 名、東京都 2 名、神奈川県 1 名であった。

午前は、野村副委員長より、歯科衛生士が保健指導を行うにあたり、全身疾患と歯周病の関連で必要な知識についての講義があった。続いて南部佳恵認定歯科衛生士が、認定歯科衛生士取得時に苦労した点なども織り交ぜて、歯周治療の症例報告を発表した。

午後は、澁谷委員長より、咬合、マージン形成、インプラントなど幅広い補綴関連知識とともに、歯周炎とインプラント周囲炎の違いにまで踏み込んだ講演が行われた。最後に、日本歯周病学会認定歯科衛生士取得までの流れと更新方法について説明が行われた。

《感想》

今回は山形市街地とはいえ、豪雪期と重なり受講生の交通手段の確保も心配したが、山形県歯科衛生士会と山形歯科専門学校の方々の尽力により、多くの受講者が集まり、無事に終了することができた。日本歯周病学会員以外にも、日本歯科衛生士会の会員 24 名を筆頭に、日本審美学会員、日本臨床歯周病学会員、日本口腔インプラント学会員、日本障害者歯科学会員など、多様な歯科衛生士が参加したが、今後、日本歯周病学会認定歯科衛生士の取得を目指したいと考えている受講者が 13 名いたことは収穫であった。

東北大震災から 1 年を経ない研修会であったが、「山形、東北での研修会を今後増やしてほしい」という強い要望は、しっかりと受けとめたいと感じた。

文責：野村正子 歯科衛生士関連委員会副委員長



雪の山形市街地



講演会風景(午前)



臨床発表を行う南部佳恵認定歯科衛生士



講演会風景(午後)